

平成21年度 佐賀県立致遠館中学校 学校評価計画

1 学校教育目標  
 未来社会の文化の創造と発展に力をつくす、豊かな人間性と進取の気性に富む若人を育てる。

2 学校経営ビジョン  
 (1) 中高一貫教育校として、6年間を見通した効果的な学習指導・進路指導・生活指導の組織的な方策を確立し、6年間のゆとりという利点を生かし、生徒一人ひとりの個性と能力を育てる学校づくりを進める。  
 (2) 6年間の指導計画の中で、経験や体験を大切に教育活動を重視し、自ら考え、調べ、発表するなどの能力を育て、専門的に学んでいくための高い能力を備えた人材を育てる。  
 (3) 生徒が高い意識を持って将来の夢・目標をしっかりと定め、それを達成すべく手厚い指導をしていくことで進路実現を図る教育を進める。特に、中高の接続をスムーズなものにし、生徒自身の内発的動機に基づく進路選択を図る。  
 (4) 保護者や地域との連携を図りながら、開かれた学校づくりを進める。

<p>3 本年度の重点目標</p> <p>(1) この6年間の進路指導の実践を整理して体系化しさらに改善します。                  (2) 高校で実施するSSH事業への理解を深め、適切な進路選択を促すために、中学生へのガイダンスを実施します。                  (3) 生徒一人一人の特性に応じて、高校での学習に必要な基礎的学力及び応用力を養成します。                  (4) 日常的な生徒の生活を把握し、問題行動の防止に努めます。                  (5) 生徒の自主的活動を支援し、発展させます。</p>	<p>4 前年度の成果と課題</p> <p>各項目とも一定の成果を出すことができた。特に、学校経営目標、部活動、SSH研究、体験活動で高い評価が出た。さらに、中高一貫の特色を生かした目標の設定が求められる。また、各具体的方策が学校運営の改善にさらに効果的につながるように、全職員の共通理解と共通行動を徹底する。</p>
---	---

5 総

領域	評価項目	評価の観点 (具体的な評価項目)	具体的目標
学校運営	学校経営方針	本年度の重点目標の周知 保護者、地域との連携	・保護者の90%以上が本年度の重点目標を知っている、または見たことがある。 ・後援会総会、学年保護者会及び学校評議員会を活性化させる。
	教職員の資質向上	教科指導法研究と指導力の向上 各種職員研修を通じた生徒対応力の向上	・授業研究会を各教科1名以上は実施する。また、定期的な教科部会を充実させる。 ・教育相談や人権・同和教育の職員研修を通して、総合的な生徒対応力を向上させる。
	開かれた学校づくり	公開授業の推進及び情報発信	・各学期1回以上の授業公開・授業参観等を実施する。 ・ホームページの早期更新、EDQスクールニュースの毎月更新を実施する。
教育活動	学力向上	基礎的学力の定着の徹底 応用力の養成	・高校での学習に必要な基礎的学力及び応用力を養成する。 ・自発的学習習慣の定着と家庭学習の充実を推進する。
	進路指導	中高一貫教育における進路指導の研究	・中学校における系統的な進路指導を研究する。
	心の教育	情操の豊かな育成	・教職員の共通理解のもと、機会をとらえて実践する。
	健康・体づくり	望ましい生活習慣の形成	・睡眠・食事についての指導推進する。朝食喫食率を98%以上にする。 ・学業・部活動の両立の推進する。
	生徒指導	中高一貫教育の特色を生かした「心」を育てる生徒指導の確立	・生徒の規範意識の向上させる。 ・「自配り、気配り、心配り」をスローガン(生徒目標)として思いやりの心を育成する。
	部活動	部活動による学校の活性化	・部活動加入を推奨する。 ・あいさつの励行やマネーアップを図る。
	生徒会活動	生徒の自主的活動の重視	・生徒による企画、運営に取り組み、生徒の自発的活動を発展させる。
	教育相談	学校不適応生徒への早期の援助 発達障害への理解の深化	・専門機関との連携を図りながら、生徒の心に自立の芽を育てる。 ・発達障害について理解を深め、ここにに応じた対応を行う。
	保健厚生	心身の健康増進と環境美化	・治療助産師の受診率を45%以上とする。 ・環境美化、ゴミの分別・減量化を徹底する。
	研修	校内外研修の充実	・研修の円滑な運営と検証をする。
図書	読書による豊かな心の育成	・朝読書を充実させる。 ・広報活動を強化する。 ・学年や教科との連携を図る。	
特定課題	中高一貫	中高一貫教育の成果の伸張と課題の克服	・有意義な6年間となるように進路指導の充実を図る。 ・中高一貫教育研究委員会を定期的に開催し、改善に繋げる。
	SSH研究	自然科学への興味喚起	・チャレンジセミナー(理科特別講座)、SPP事業を充実させる。 ・高校のSSHに接続する中学校の選択授業を充実させる。
	体験活動	エリア・スタディ(総合的な学習の時間)の充実	・エリア・スタディを通じて、生徒の課題設定・課題解決能力、コミュニケーション能力、社会形成力を育成する。